

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

単施設研究用

救急外来における入院判断支援スコアの構築：初診時の臨床指標を用いた観察研究

1. 研究の対象

対象期間：2024. 1. 1-2024. 12. 31

上記期間に高知大学医学部附属病院の救急外来を受診された方のうち、初期バイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数、体温、酸素飽和度など）および採血検査結果が診療録に記録されている方を対象とします。本研究は 18 歳以上の方を対象とします。

2. 研究目的・方法

研究目的：救急外来受診時に通常診療として測定される初期バイタルサインおよび採血データ等から、短期間の再受診が生じやすい患者さんの特徴を明らかにし、再受診リスクの把握（層別化）に資する知見を得ることを目的とします。得られた知見は、帰宅時説明やフォローアップの改善など、救急医療の質および安全性の向上に役立つ可能性があります。

研究方法：

本研究は、通常診療で既に記録されている診療情報を用いる後ろ向き観察研究です。研究のために新たな検査や採血を追加で行うことはありません。対象期間内の救急外来受診記録から、初期バイタルサイン、採血検査値、患者背景、受診状況、転帰、短期再受診の有無等を収集し、再受診との関連を統計学的に解析します。必要に応じて、複数項目を組み合わせた再受診リスク推定モデル（スコア等）を検討します。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2027. 03. 31

利用を開始する予定日：研究機関の長の実施許可日以降 2026 年 02 月

3. 研究に用いる情報の種類

情報：

年齢、性別、受診日時、受診方法（救急車利用の有無等）、主訴、既往歴（診療録に記載の範囲）、初期バイタルサイン（収縮期血圧・拡張期血圧、脈拍、呼吸数、体温、酸素飽和度等）、採血検査（血算、生化学、電解質、炎症反応、腎機能、肝機能、血糖等、院内で通常測定される項目）、画像検査実施の有無、救急外来での転帰（帰宅・入院等）、短期再受診の有無（再受診日時、再受診時転帰を含む）等。

個人を特定しうる情報を用いる場合：

診療録番号（カルテ番号）等（再受診との照合およびデータ管理のために用います）。

試料：用いません（新たな検体採取は行いません）。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：高知県南国市岡豊町小蓮

担当所属：高知大学医学部 災害・救急医療学 恩田秀賢

電話 088-880-2286

研究責任者：高知大学医学部災害・救急医療学 恩田秀賢

-----以上